

平成 28 年 9 月 1 日現在 建設状況について



全景 赤枠：工事範囲
緑枠：管理棟建設範囲
黄枠：工場棟建設範囲

▽準備工事

本体工事（工場棟）着工に向け、8月に引き続き準備工事の進捗状況をお知らせします。

【工場棟関係】止水壁工事、薬液注入工事の継続

【管理棟関係】基礎杭全54本の施工が完了

止水壁工事はSMW工法（H28.7状況参照）同様、セメントミルクを注入し、土と混ぜて止水壁を形成するものです。SMW工法と違い芯材が無く、土留め機能は親杭に持たせています。

薬液注入工事は地下に無機質の不透水性層を形成するもので、ロータリーパーカッションにて注入孔を掘削後、ボーリングマシンに二重管をセットし、薬液を注入していきます。薬液は二重管端部（地中）で混合するとゲル状に変化するもので、隙間なく施工するため、その数は5000本以上となります。



写真左：止水壁施工後、形成された止水壁。

写真中：ロータリーパーカッション。回転及び打撃にて掘削。

写真右：二重管（φ40）。2液を地中で混合するために用いられる。